

## 管理計画・アクションプランの改定について

## 1. 背景

「全ての推薦地は、顕著な普遍的価値を保護する、望ましくは参加型の方法を記した、適切な管理計画又はその他の文書化された管理システムを持つべきである。」(世界遺産の運用ガイドライン)

小笠原諸島世界自然遺産地域では、科学委員会の助言と地域連絡会議での連絡調整の下、「小笠原諸島管理計画」及びその下に短期的な目標及び対策の優先順位・手順や内容を示した「生態系保全アクションプラン」を作成し、科学的な助言に基づく適正な管理を目指してきた。

小笠原諸島世界自然遺産地域の普遍的価値として認められた「進化の過程にある特徴的な生態系」は、外来種の侵入拡散により、この5年間でも大きな変化が生じている。状況に応じた管理方法の再検討が必要であること、世界遺産委員会への5～6年に1回程度の保全状況報告に対応した準備も必要であることから、管理計画及びアクションプランの改定を実施する。

## 2. 検討体制

- ・小笠原諸島世界自然遺産地域では、地域連絡会議を設置し、その検討事項に「管理計画に関する事項」を含めている（地域連絡会議設置要綱）。
- ・管理計画及びアクションプランを改定するに当たり、地域連絡会議の下に設置する「管理計画改定作業部会」が主体になり、科学委員会委員及び必要に応じて招聘するオブザーバーからなる「管理計画・アクションプランWG」の科学的助言の下、合同開催により検討を進める。
- ・「管理計画改定作業部会」を平成28年度内に4回、平成29年度1回の計5回、うち3回を「管理計画・アクションプランWG」との合同開催と想定。

名 称	管理計画改定作業部会	
設置期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年9月～</li> <li>・平成28年度は4回開催予定（9月、10月、12月、2月）</li> </ul>	
事務局	管理機関（環境省、林野庁、東京都、小笠原村）	
メンバー	参画団体	管理機関
	小笠原村商工会 小笠原村観光協会 小笠原母島観光協会 小笠原ホエールウォッチング協会 小笠原島漁業協同組合 小笠原母島漁業協同組合 東京島しょ農業協同組合 NPO 小笠原野生生物研究会 NPO 小笠原自然文化研究所 小笠原環境計画研究所	関東地方環境事務所 関東森林管理局 東京都 小笠原村 （＋小笠原エコツーリズム協議会を代表して小笠原村産業観光課長） オブザーバー 関係行政機関その他メンバーが必要と認める者

(参考：科学委員会下部)

名 称	科学委員会下部 管理計画・アクションプラン WG	
設置期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 9 月～</li> <li>・平成 28 年度は 2 回開催予定 (9 月、12 月)</li> </ul>	
事務局	管理機関 (環境省、林野庁、東京都、小笠原村)	
メンバー	委員	管理機関
	<p>阿部 宗広 自然公園財団 専務理事</p> <p>海野 進 金沢大学 理工研究域自然システム学系 教授</p> <p>大河内 勇 日本森林技術協会 業務執行理事</p> <p>織 朱實 上智大学大学院 地球環境学研究科 教授</p> <p>可知 直毅 首都大学東京大学院 理工学研究科 教授</p> <p>苅部 治紀 神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員</p> <p>川上 和人 森林総合研究所 野生動物研究領域 鳥獣生態研究室 主任研究員</p> <p>清水 善和 駒澤大学 総合教育研究部 教授</p> <p>田中 信行 森林総合研究所 資料課・植物生態研究領域 研究専門員</p> <p>千葉 聡 東北大学東北アジア研究センター 教授</p> <p>堀越 和夫 小笠原自然文化研究所 理事長</p> <p>安井 隆弥 小笠原野生生物研究会 理事長</p> <p>吉田 正人 筑波大学大学院 人間総合科学研究科世界遺産専攻 教授</p>	<p>関東地方環境事務所</p> <p>関東森林管理局</p> <p>東京都</p> <p>小笠原村</p> <hr/> <p>オブザーバー</p> <p>保全管理委員会委員や法制度の専門家等を必要に応じて招聘</p>

検討体制・スケジュール（案）

